

## QUESTION

多種多様な技術、分野、  
お客さまをカバー

## 中期経営計画におけるコア・マテリアル事業部のミッションは?

「SMART 2030」では分野別に4つの事業セグメントが設定されました。事業分野が明確な「電子・情報」「環境・エネルギー」「ライフ・ウェルネス」各事業部に対し、当事業部が担うのは、分野をまたいでとても多様。その名前通り、第一工業製薬のコア、つまり核であり基盤となる技術や製品群、またお客さまや産業分野、すべてを担当する事業部と言えます。

機械、鉄鋼からプラスチック、土木、農業、食品などといった非常に広い分野をカバーするために、取り扱う材料も全社的に網羅。そんな中で今、材料に、これまでと違う使用用途や性能が求められるようになっています。当社の

事業であり基盤技術である界面活性剤も、大きく変わろうとしている分野のひとつです。一例を挙げれば、ショ糖脂肪酸エステル。食品添加物としての展開から、非常に安全性が高くかつ生分解性の高い材料として多分野からお声掛けいただくようになっています。



長沼 準二

執行役員 事業本部 コア・マテリアル事業部長

また環境に対する意識が高いEU圏でショ糖脂肪酸エステルを販売するグループ会社Sisterna B.V.が、EcoVadisの評価において「プラチナ」グレードを獲得したことは飛躍の大きな契機になったと考えています。これは環境配慮に関する企業の管理姿勢を評価するもので、参加企業のスコア上位1%にしか与えられません。持続可能性を追求した継続的な取り組みへの高い評価は、グループ全体の活動強化につながります。

新たに担当分野に加わった「おおいビジネス」も含め、コア・マテリアル事業部としてどんな貢献ができるのかを考え、2030年へ向かいます。

新しい発想と視点で  
サステナビリティにも  
貢献

## 積み重ねてきた既存技術と製品に新たな付加価値を創造!

当事業部が取り組まなければならぬのは、当社製品の、これまでにはない使い方、つまり付加価値をいかに創造し、お客さまに提供するかということ。時代の変化、環境や安全への意識の高まりといった背景のもと、当社の伝統的な製品が新しい用途で再び注目を集めている状況も生まれています。多種多様な技術や製品を持つという当社の強みは、つまりお客さまの分野も幅広いということでもあります。まったく新しいマーケットへ向かうのではなく、今ある基盤技術、今ある製品群、今あるお客さまとの接点を生かしながら一歩先のニーズを拾い上げ、新しい付加価値として提供していきたいと考えています。

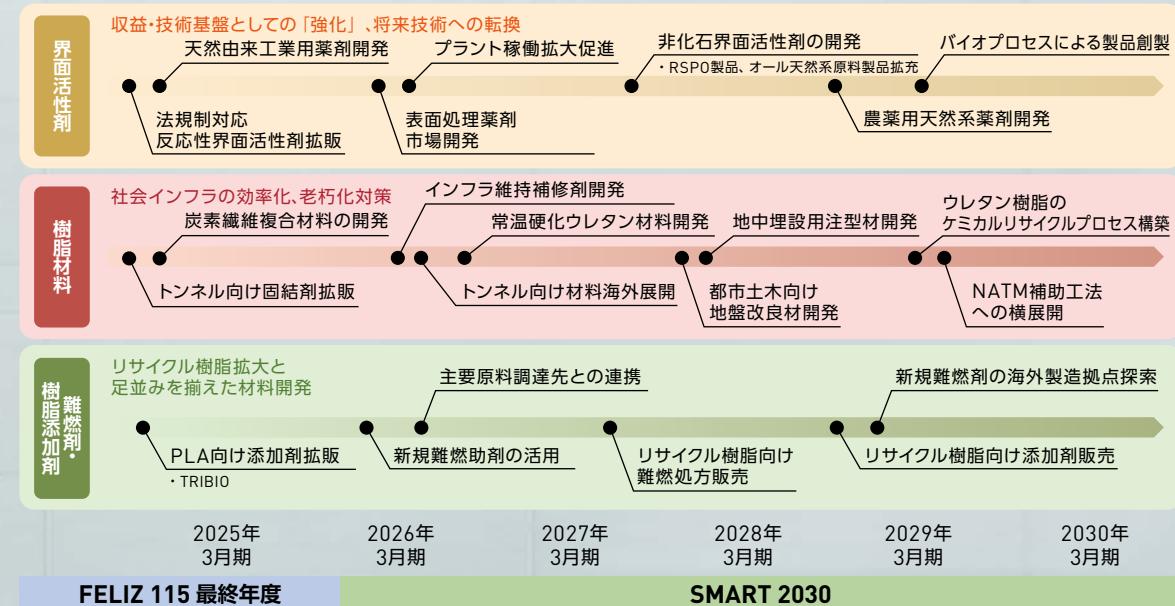
そのために重要となるのが、営・研一体となった活動の強化です。事業部には営業と研究それぞれ約30人ずつが在籍しており、産業分野、用途、ソリューションなどについて若手を中心とした複数のチームで取り組んでいます。



新しい発想、新しい視点で、既存の製品や既存のお客さまに限定されることなく、事業部として何ができるのか。今ある素材を生かすはどうしたらいいのか。例えば食品や化粧品に使われてきた製品には、高い安全性というストーリーを持たせた新たな提案も可能かと。もちろん、第一工業製薬の基盤技術を生かして活動するということは前提です。

コア・マテリアル事業部のテーマは、循環型社会への貢献です。環境負荷の少ない天然由来原料の活用や、世界基準の環境への配慮に適合した製品開発を進めるとともに、歴史ある製品が新しい視点でもってユニークな輝きを放つ姿をめざしています。

## コア・マテリアル 戦略ロードマップ



新しくDKSとしておい分野のソリューションビジネスを担当  
これまでと違ったアプローチでお客さまの課題を  
スピード感をもって解決する形をめざします

